

【ナイトミーティングの概要】

班	対象テーマ	世話人代表	講演者名	講演タイトル
1	ダイオキシンの簡易分析（サンプリングから機器分析，生物検定法，その他）	清家伸康（農業環境研究所）	塩崎卓哉（日本環境衛生セ）	ダイオキシンの簡易分析に関する総論
			加藤みか（横浜国立大）	排ガスの効率的サンプリング法と土壌・底質の簡易測定法
			滝上英孝（国環研）	生物検定法について
			佐々木裕子（東京都環境科学研）	公定法の迅速化の課題
2	ダイオキシン対策（発生源，処理等）	橋本俊次（国立環境研究所）	山本 央（東京都環境科学研）	ある汚染事例の紹介
			茨木 剛（新潟県保健環境研）	発生源推定法について
3	有機ハロゲン物質（POPs，臭素系化合物，PFOS など汚染の現状と規制の動向そして今後の課題）	中野 武（兵庫県立健康環境科学研究所）	斉藤憲光（岩手県環保研セ）	有機フッ素系化合物汚染の動向と今後の課題
			野馬幸生（国環研）	残留性有機汚染物質規制の動向と今後の課題
			太田壮一（摂南大）	有機臭素系化合物汚染の動向と今後の課題
4	微量で生理活性が強い化学物質の，環境影響，検出，動態～PPCPs，EDCs を中心として～	鎌迫典久（国立環境研究所）	石橋弘志（愛媛大学）	PPCPsによる生物影響（急性・亜急性・慢性毒性や内分泌かく乱性など）と新しい評価法の開発
			高尾雄二（長崎大学）	環境中医薬品等の測定方法の実際とその問題点について
			山本裕史（徳島大学）	PPCPs 問題の国内外における最新動向および環境中動態を中心とした生態リスク初期評価について
5	重金属・微量元素・アスベストその他（分析法・生体影響等）	渡邊 泉（東京農工大）	坂田昌弘（静岡県立大）	わが国における微量重金属の湿性および乾性沈着量の実態－アジア大陸からの長距離輸送の重要性－
			尾崎宏和（東京大学院）	重金属・有害微量元素による土壌汚染：Urban から Rural まで，そしてアジアから日本を見ると
			東條俊樹（大阪市環研）	アスベスト分析における問題点
6	LC/MS 分析（分析技術と将来展望）	鈴木 茂（中部大）	上堀美知子（大阪府環境情報セ）	LC/MS の化学物質環境調査への応用（レビュー）
			大井悦雅（株）島津テクノリサーチ）	LC/MS における LC とインターフェースの技術
			鈴木 茂（中部大）	精密質量 MS/MS による LC/MS 定性分析法の研究
7	ELISA の手法開発	有菌幸司（熊本県立大）	藤本茂（日本エンバイロケミカルズ）	環境用 ELISA の標準化 -JIS K0461 の策定について-
			北本寛明（兵庫県健康研セ）	バイオアッセイの精度管理について
			高橋 悟（岩手県環境保健研究セ）	環境技術実証試験の実施状況
8	環境化学の未来をサロン形式で語ろう	彼谷邦光（東北大学）	なし	なし

※ナイトミーティングの会場は，後日お知らせいたします。